

### 集まれおうめっ子！ パラスポーツにトライ！ の巻

日時 10月6日(日) 午前9時30分～午後3時30分(9時受付開始)  
 会場 成木市民センター  
 対象 市内在住・在学の小学4年生～中学3年生  
 内容 パラスポーツ(シッティングバレー、ボッチャ)を体験  
 講師 柳澤裕之氏  
 定員 先着36人(予約制)  
 費用 300円  
 服装・持ち物 動きやすく汚れてもよい服装・靴(室内用)、おわん、お箸、おむすび、飲み物、タオル、筆記用具  
 その他 保護者の参加・見学不可▷昼食時に豚汁を提供します。  
 主催 市青少年委員協議会 ※子どもゆめ基金助成活動  
 申し込み 電話で市青少年委員協議会事務局(社会教育課内)へ

### 青梅児童合唱団・青梅市民合唱団

#### いこいのおんがくかい

世界の名曲や誰もが耳にしたことのある日本の曲を、さわやかな合唱でお届けします。合唱を聴きながらお昼のひと時を過ごしませんか。

日程

▷青梅児童合唱団…8月22日(木)  
 ▷青梅市民合唱団…8月26日(月)

いずれも

時間 午後零時15分～45分

会場 市役所2階姉妹都市コーナー

入場無料

直接会場へ

問い合わせ 社会教育課



### 三小児童の起業したAOSAN、COが利益の一部を市へ寄付しました



三小では、総合的な学習の時間を活用し、5年生が青梅の魅力を学び、模擬株式会社を運営する起業家教育に取り組んでいます。

昨年度は、「青梅を世界にPRする」を合い言葉に、市内諸団体の協力を得て、社員たちが考案したオリジナルデザインのフェイスタオルを商品化し、スーパーマーケットや青梅マラソン会場で販売しました。

7月18日に、現在6年生となった、平成30年度同社社長・副社長等が社員を代表して浜中市長を訪問し、利益の一部を市へ寄付しました。浜中市長は、児童たちが熱心に取り組んだこと、寄付による社会貢献を褒め、お礼を述べました。

また、寄付金22,490円は、児童たちの希望どおり、教育の予算として活用することを約束しました。

問い合わせ 指導室指導係

### 小・中学校に応答専用留守番電話を設置します

学校における働き方改革の一環として、小・中学校に応答専用留守番電話を設置します。教職員の勤務時間外は原則として留守番電話での応答となります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

開始日 各校の2学期開始日から

区分	開始時間
月～金曜日	小学校…午後6時30分から 中学校…午後7時15分または7時30分から
土・日曜日、祝日、年末年始等	終日
長期休業期間中の月～金曜日	午後4時45分または5時から

※学校行事等により時間に変更となる場合あり

その他 事故・事件など緊急の場合は、市役所へご連絡ください。

問い合わせ 指導室教職員係

### 第60回市民体育大会参加者募集

問い合わせ スポーツ推進課

#### カヌー(カヌースラローム)

日時 9月8日(日) 午後1時開会式、1時30分競技開始(9時30分～正午受付)

会場 東原公園水泳場

対象 小学生以上で多少泳げる方(初心者歓迎)

種目 カヌースラローム小学生・中学生・一般(いずれも男子・女子)

費用無料 持ち物 濡れてもよい服装(化学繊維のもの)

申し込み 9月1日までにいずれかの方法で

▷直接…直接スポーツ推進課(市役所3階)、住友金属鉦山アリーナ青梅(総合体育館)、各市民センターへ

▷電話・電子メール…電話☎32-0977または電子メール✉f-tsuyoshi@nifty.comで市カヌー協会 藤野へ

#### テニス(ミックスダブルス)

日時 10月6日(日) 午前9時競技開始(8時30分受付開始)

※予備日…10月20日(日) 会場 市民球技場

対象 市内在住・在勤・在学者、市テニス協会員 種目 ミックスダブルス

費用 1ペア500円(ボール代) ※当日集金

その他 上位入賞者は市代表として対外試合の派遣対象選手になれます。

詳細 市テニス協会 若林☎090-2173-9267

申し込み 8月31日までに直接住友金属鉦山アリーナ青梅または各市民センターへ

#### バスケットボール

日程 10月6日～20日の日曜日、11月3日の祝日

会場 住友金属鉦山アリーナ青梅、今井市民センター 対象 高校生以上

種目 一般男子・女子、シニア男子・女子

※シニア男子は35歳以上、シニア女子33歳以上で一般男子・女子と重複参加可

競技方法 リーグ戦 ※参加チーム数により変更あり

費用 3,000円(シニアは1試合1,500円) ※当日集金

詳細 市バスケットボール連盟 桜木☎090-4618-1623

申し込み 9月1日までにチーム名、代表者氏名・電話番号・電子メールアドレス、参加種別、その他連絡事項を電子メール✉slamdunk\_yukari.love-beer@docomo.ne.jpで同連盟 桜木へ

青梅市の文化遺産32

### タカの渡りの観察会

市文化財保護指導員 荒井悦子

今年で21年目を迎えるタカ渡り観察会。日本野鳥の会奥多摩支部は、梅の公園で9月下旬から10月上旬にかけて観察を続けています。タカの渡りとは、日本で繁殖を終えたタカ類が、越冬のために南の沖縄や東南アジアを目指して集団で渡る様子のことです。昨年は、サンバが1千313羽、ハチクマ66羽、ノスリ88羽をカウントしました。

サシバというタカが多く、観察者もサシバの渡りを見るために遠方からやってきました。最も多くカウントできるのは、9月下旬の晴れた日です。昨年は9月28日が最も多く観察できました。当日の観察会担当者の報告によると「午前7時46分に軍畑方向く高山山を行く12羽を発見。8時43分に同じルートで31羽が渡っている。辛垣山の北側に出現し、雷電山く

軍畑く高山山そして御岳山という、梅の公園から離れて渡るケースが断続的に続く。9時29分、9時42分にかけて大きな群れが来た。辛垣山く三方山にかけて数回タカ柱を作りながら梅の公園の西側を通過して御岳山方向へ渡って行った。最大48羽で、13分間に126羽が渡った。サシバの群れに驚いたのか、クマタカが雷電山方向に出現した。しばらく観察していると、次のサシバの群れが三方山方向から10時2分に出現して、66羽が10分ほどかけて南西へ渡っ

た。これは梅の公園の王道コースで参加者から歓声が上がった。その後は、観察終了の午後2時前後まで断続的に渡り、20羽前後のタカ柱を数回作って渡って行った。」ということでした。タカ柱とは、上昇気流に乗って複数のタカが渦のように旋回しながら上昇している状態で見えやすくなります。多くの渡りが観察できる日は、ほんの数日ですが、全国でサシバファンが空を見上げます。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859